



香港中樂團

HONG KONG CHINESE ORCHESTRA

藝術總監：閻惠昌

ARTISTIC DIRECTOR: YAN HUICHANG

中国伝統楽器オーケストラの
迫力のアンサンブル！

2023 JAPAN TOUR

閻惠昌と香港中樂團

琵琶：張瑩

指揮：閻惠昌

サクソフォン：住谷美帆



シー・チェックイン 伍卓賢：真〈「極」第六樂章〉

チャン・ミンチー 陳明志：精・氣・神

琵琶と中樂團協奏曲
ファン・ジンイー 孔志軒：幻想伎樂天

琵琶：張瑩

サクソフォン協奏曲
ジャオ・ジーピン 趙季平：シルクロード幻想組曲より

第一樂章 長安の別れ 第三樂章 涼州の楽
第四樂章 楼蘭の夢 第五樂章 クチャの舞

サクソフォン：住谷美帆

タン・ダウン 譚盾：西北第一組曲

第一章 天は甘露の雨を降らす
第二章 新婚夫婦の部屋に押しかける
第三章 恋しい人を想う
第四章 石板の腰鼓

2023/3/31(金)19:00開演(18:30開場)
東京オペラシティ コンサートホール

料金(税込)全席指定

S¥4,000 A¥3,000 B¥2,000 C¥1,000

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

主催：LEGARE

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:236684)
e+ <https://eplus.jp/>
東京オペラシティチケットセンター
03-5353-9999
LEGARE cdt.legare@jcom.home.ne.jp

お問い合わせ

LEGARE 0467-91-0496 cdt.legare@jcom.home.ne.jp

香港中樂團は香港特別行政区政府の助成を受けています
Hong Kong Chinese Orchestra is financially
supported by the Government of the Hong
Kong Special Administrative Region

www.hkco.org



香港中樂團

香港中樂團は1977年に設立され、かねてより「民族音楽の俊秀」及び「香港文化大使」の美称がある。楽団はしばしば国際的に著名な音楽ホールや芸術祭に招待され、その公演の足跡は欧州、米州、アジア、豪州、北極圏など多くの国家及び地域に広がり、当代の国際舞台において指導的地位を有する大型中国音楽オーケストラである。



楽団の編成は擦弦および撥弦楽器*、管楽器、打楽器の四種類に分けられ、その中には伝統楽器と新たな改造を加えた多種類の楽器が含まれている。楽団の擦弦楽器声部は2009年に楽団が研究開発したエコ胡琴シリーズを全面的に使用している。演奏の形式と内容には、伝統民族音楽と近代の大型作品が含まれる。楽団はさらに各種のスタイルやジャンルの新作を広く委託創作しており、現在に到るまで作曲あるいは編曲を委託した作品は2,400曲にのぼる。

香港中樂團は芸術、ガバナンス管理、芸術教育、市場プロモーションにおいて各界からいずれも高い評価を得て、多くの榮譽に浴している。楽団が研究制作したエコ胡琴シリーズは国家の「第四回文化部イノベーション賞」(2012)を受賞しただけでなく、環境保護への貢献と独創性によって多くの機関団体から表彰され、その成果は何度も記録を更新している。

* 擦弦は弓でひく、撥弦は指ではじく楽器。

イェン・ホイ チャン

閻惠昌 香港中樂團芸術監督兼終身指揮者



国内外の音楽界に高い名声を博する中国音楽指揮者、1997年6月より香港中樂團に就任。1987年、中国第一回専門検定国家第一級指揮者の認定を受け、文化発展に対する寄与により世界各地の政府からも表彰されている。受賞歴に、シンガポール政府「2001年文化賞」、香港特別行政区「シルバー・バウヒニア・スター(SBS, Silver Bauhinia Star)賞」、台湾「第五十一回中国文芸奨賞(海外文芸奨賞-音楽部門)」および台湾「2018年度伝統芸術音楽部門金曲賞最優秀指揮者賞」、国際演芸協会「2022年卓越芸術家賞」など。

閻氏は香港中樂團を率いて中国音楽の発展にとって重要な意義を持つ多くのマイルストーンを打ち立てた。世界各地の有名な芸術祭及び音楽祭における頻繁な招待公演を通じてその芸術的業績は各界に高く評価されている。香港中樂團を全方位にわたって拡大発展させ、楽曲の受託創作を推進した。さらに積極的に異分野との交流と融合をはかり、楽器の改革発展にイニシアチブを発揮した。

閻氏は著名な指揮者である夏飛雲、作曲家胡登跳・何占豪教授らに師事し、1983年に優秀な成績で上海音楽学院を卒業すると同時に中国中央民族楽団に招聘されて首席指揮者兼楽団芸術指導者となった。中国音楽の指揮以外に、招きに応じて西洋音楽のオーケストラで指揮を執ったこともある。閻氏はまた、作曲家としても活躍しており、その作品は国内で数多くの最優秀賞を受賞している。

ジャー・イー・イン

張瑩 琵琶



香港中樂團琵琶首席奏者。そのほかに、香港演芸学院修士課程指導教員、香港大学・香港演芸学院・香港バプティスト大学、香港中文大学、香港教育大学で教鞭を執る。趙芸囡、李桂香、呉俊生、任宏、楊靖教授に師事し、中国音楽学院修士学位を取得。2004年、「龍音杯」国際民族器楽コンクールにおいて琵琶青年プロフェッショナルの部で一等賞を獲得。2002年、文化部*主催「中国第一回民族器楽コンクール」琵琶青年プロフェッショナルの部で銀賞を獲得。

最近の公演活動には、2021年5月の香港中樂團「花木蘭(ムーラン)と穆桂英」コンサートにおいて琵琶協奏曲「花木蘭」を演奏し、2020年初めには香港中樂團のヨーロッパ巡回公演に随行して、スイス、ドイツ、ベルギー、オーストリア、ハンガリーにおいて琵琶獨奏で楽団と共演した「霸王卸甲」は広く好評を得た。また、アメリカ、イギリス、ニュージーランド、カナダ、ロシア、韓国、ノルウェー、ドイツ、チェコなど多くの国と地域で演奏活動を行っている。

* 文化部は日本の文化庁に相当。

住谷美帆 サクソフォン



1995年茨城県水戸市出身。2018年東京藝術大学を首席で卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、安宅賞及び三菱地所賞を受賞。同年7月第9回国際サクソフォンコンクール(スロヴェニア)にて優勝し、女性として初の快挙を成し遂げた。同年12月には「プロムナード」(キングレコード)でCDデビュー。第6回秋吉台音楽コンクール第1位、総合グランプリ(山口県知事賞)受賞。第34回日本管打楽器コンクール第2位、2022年アイオロス国際管楽器コンクール(ドイツ)のサクソフォン部門で第2位受賞・総合で5位入賞他、優勝入賞多数。

これまでにサクソフォンを須川展也、鶴飼奈民、大石将紀、有村純親各氏に師事。

学生時代からメディア出演も多く、女性サクソフォニストの新星として多方面より注目を集めている。ぱんだウィンドオーケストラメンバー。

エコ胡琴シリーズは、香港中樂團が民族音楽伝統弦楽器の音響を全面的に発展させるために創作した革新的な楽器である。設計コンセプトは、環境保護・伝統継承・創造革新の三点によって貫かれている。最も中核的な技術としては、多種類の再生可能PETポリエステル繊維フィルムから選出した素材をニシキヘビの皮の代わりに使用することにより生態を保護し、科学的な計算法を用いて新たに設計した共鳴胴によって楽器の持つ物理性能を大幅に向上させたことが挙げられる。

エコ高胡、エコ中胡、エコ二胡、エコ低音革胡、エコ革胡
Eco-Gaohu, Eco-Zhonghu, Eco-Erhu, Eco-Bass Gehu, Eco-Gehu

